



情報モラル教育

を意識した指導のための

校内研修 パッケージ



従来の授業に情報モラルの指導を取り込むためには、
どのような指導していけばよいのでしょうか？

INTRODUCTION (はじめに)

情報モラルに関わって岡山県教育委員会が委託しているネットパトロールにより、児童生徒によるものと思われる約10,000件の問題のある投稿が検出されています。

そこで、情報モラル教育を学校全体で系統的に行うきっかけを作ることができる校内研修パッケージを開発しました。本パッケージは、先行的に主に小学校を対象に開発しました。

本パッケージを活用して情報モラル教育の校内研修を実施してみたいかがでしょうか。本パッケージの内容や入手方法も記載していますので合わせて御覧ください。



INFORMATION MORALS

SUGGESTION (提案)

本パッケージは、岡山県内の児童生徒の携帯電話等の利用に関わる実態を考慮し、各教科・領域等における授業に情報モラルの視点をもった学習活動を取り込み*1，系統性をもたせた指導ができるような研修を目指しました。本パッケージでは、主に道徳の授業を中心に扱っています。児童生徒の実態、発達段階、情報モラルの学習内容と各教科・領域等の授業のねらいを踏まえることで、情報モラルの指導を行うことができます。

STEP1 では、資料を読み、情報モラルの内容を整理する研修を行います。

STEP2 では、道徳の時間の内容項目と情報モラル教育の学習内容を関連させる研修を行います。

情報モラル教育が扱う範囲は大変広いので、インターネット上で起きている問題を理解するために、また、様々な情報モラルの指導を行うためにも情報モラルに関わる情報収集は今後も必要となります*1。

*1『教育の情報化に関する手引』（2010，文部科学省）より

STEP1

- 1 資料を読む
- 2 「情報モラル指導モデルカリキュラム表」*2で位置付けを確かめる

*2文部科学省委託事業『すべての先生のための情報モラル指導実践キックオフガイド』（2007，日本教育工学振興会）より

STEP2

- 1 インターネットや情報機器などの特性を確認する
- 2 **STEP1** を生かして情報モラルの内容を確認する
- 3 情報モラルを含めた発問を考える

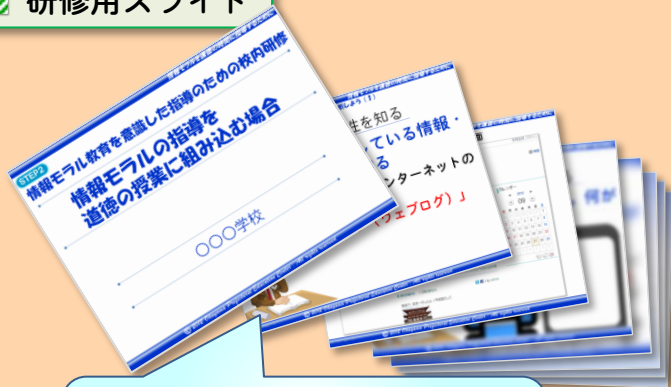
HOW TO GET (入手方法)

以下のURLからダウンロードしてください。

http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/gakkoushien/jyoho_kyouiku/moral_2012/index.html

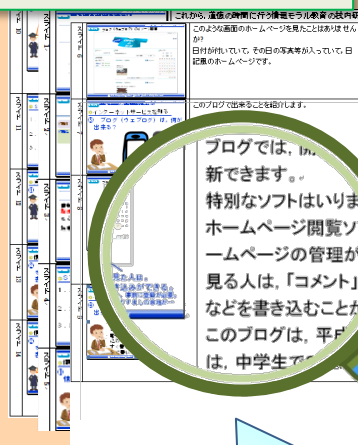
CONTENTS (STEP1, STEP2 に含まれている内容)

研修用スライド

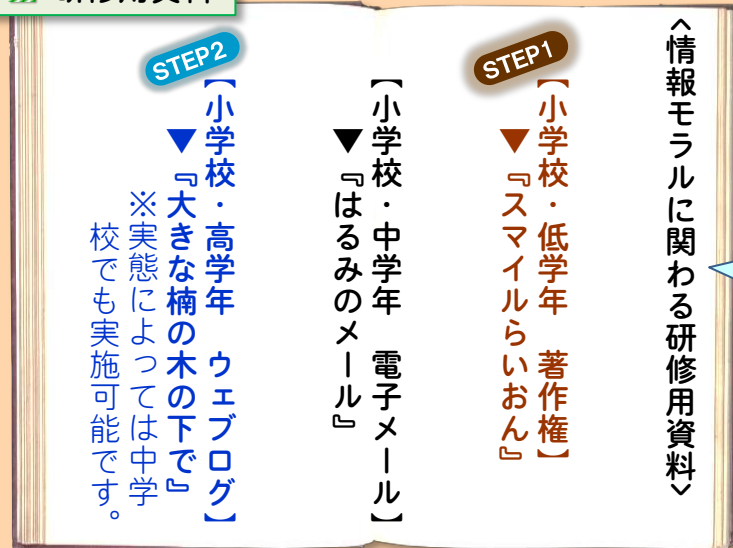


研修の進め方や研修内容を理解しやすくする研修用スライドをそれぞれ用意しています。

研修用スライドの原稿



研修用資料



研修用資料の二つを、校内研修パッケージとしています。これらの資料は、校内研修に自由に活用していただけます。

はじめに読むシート (研修準備編)

研修用ワークシート

道徳の内容項目一覧表 (文部科学省)

情報モラル指導モデルカリキュラム表 (文部科学省)

指導事例 (補足資料として付属)

★学習指導案例

★児童用ワークシート例

その他、校内研修を行うために必要なワークシートや学習指導案例などを準備しています。

SUMMARY (まとめ)

- 校内研修パッケージの活用によって、先生方が情報モラルに対する理解を深めることができ、各教科・領域等でも情報モラルの視点をもった学習活動を取り込んで指導を繰り返すことで、児童生徒の情報モラルへの理解が深まることが期待できます。
- 学校全体で系統的に取り組む体制が整えば、どの場面でどの内容を扱う必要があるかについて児童生徒の実態を含めて共通理解することができます。

FEATURE (本パッケージの特徴)

- 資料の内容に合わせた研修スライド
- STEP1, STEP2 で構成 (各回約30分)
- 研修用スライド&台本付きで、クイックスタート!
- Webページで最新の情報を入手可能 (随時更新)
- 情報モラルについての解説入り
- 「情報モラル指導モデルカリキュラム表」*2に対応

KNOWLEDGE (実態調査等について)

- 図1のように岡山県内の学校を対象としたネットパトロールの報告からも、情報モラル教育の必要性はますます高まっています。
- 平成23年度「岡山県公立学校における携帯電話等利用の実態調査結果について」(岡山県教育庁指導課生徒指導推進室)から、携帯電話等の所持率の上昇とともに情報モラルに関わる問題が増えています(図2, 3)。これまでの情報モラル教育を振り返り、指導方法の改善や発達段階、実態に合わせて系統的に進めていくことが必要です。

岡山県内ネットパトロール報告

- 検出総数: 10,114件
- 検出した投稿の9割近くが「個人情報の流布」
- 「いじめ・中傷」「不法行為」「トラブル」は、全体の約2%(約200件)

【調査期間】
平成23年1月～平成24年1月

図1

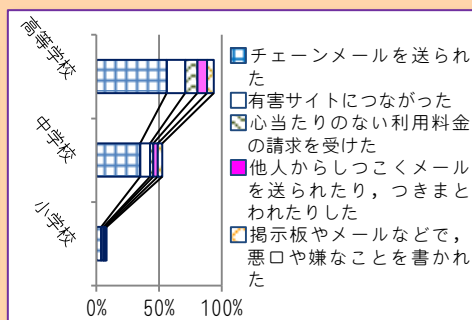


図2

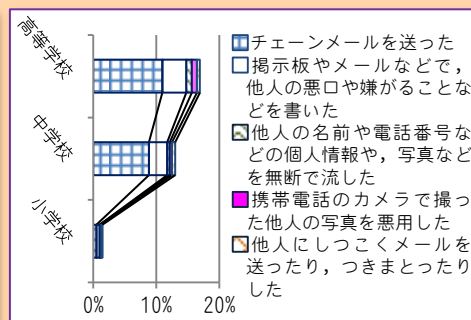


図3



平成23・24年度岡山県総合教育センター所員研究 (共同研究; 情報教育) 「情報モラル教育を意識した指導のための校内研修パッケージの開発」

研究委員会

指導助言者

藤原 敬三 岡山大学大学院准教授 (平成24年度)

協力委員

高橋 寿美 津山市立北小学校指導教諭 (平成24年度)
 田村 智典 津山市立広野小学校教諭 (平成23年度)
 (現 津山市立大崎小学校指導教諭)
 松本 博子 瀬戸内市立牛窓西小学校教諭 (平成23年度)
 (現 瀬戸内市立堂掛小学校教頭)
 木村 正徳 瀬戸内市立国府小学校教諭
 小倉 恭彦 岡山大学教育学部附属中学校教諭 (平成24年度)

研究委員

山内 隆彦 岡山県総合教育センター情報教育部長 (平成23年度)
 (現 岡山市立開成小学校長)
 小林 朝雄 岡山県総合教育センター情報教育部長 (平成24年度)
 美若 利充 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事
 西村 能昌 岡山県総合教育センター情報教育部指導主事 (平成24年度)

平成25年2月発行

情報モラル教育を意識した指導のための校内研修パッケージの開発

編集兼発行所 岡山県総合教育センター
 〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11
 TEL (0866)56-9101 FAX (0866)56-9121
 URL <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>
 E-MAIL kyoikuse@pref.okayama.lg.jp